

“やってみよう！”の気持ちが続く環境構成と援助

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(幼保連携型認定こども園教育・保育要領より)と遊びの「継続」、「発展」に注目し、紹介します。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- * 健康な心と体
- * 自立心
- * 協同性
- * 道徳性・規範意識の芽生え
- * 社会生活との関わり
- * 思考力の芽生え
- * 自然との関わり・生命尊重
- * 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- * 言葉による伝え合い
- * 豊かな感性と表現

5歳児 らいおん組

～みんなで作り上げる「らいおんまつり」～



<保育者の関わり> 魔法の言葉「いいね！」

取り組みの中で、子どもたちからの提案に「いいね！」と応えるようにしました。この魔法の言葉が子どもたちにも浸透し、「それ、いいね！」と認め合ったり、遊びに取り入れたりする姿につながっていきました。

* 数量や図形 標識や文字などへの 関心・感覚



看板、ポスターづくり

「お祭りには、看板が必要！」という気付きから、自然と始まった看板、ポスターづくり。文字や数字に興味を示して、書き方を保育者に聞いたり、友達の真似をしたりして作る中で、文字への興味を深め、親しむ姿がみられました。



たこやきづくり

子どもたちで作りたいものを話し合い、「一番おいしいたこやししよう」と共通のイメージをもちながら、取り組みました。自分の意見を認めてもらう経験や相手の気持ちや状況を考えながら関わる姿につながりました。

* 言葉による伝え合い

らいおん会議

何をしたいのか、どうしたらできるのかなど自分の考えを言葉で伝えるだけではなく、友達の見解に耳を傾け、『クラスみんなで力を合わせて取り組もう』という共通の目標をもつことができました。

* 健康な心と体

見通し

まつりまでの日数を意識して、何を準備したらよいか、今日はどんなことをやろうかなど、子どもたち自身で見通しをもちながら活動する様子が見られました。その中で、「チケットが必要」「ポスターで知らせよう」など新たなアイデアも生まれ、伸び伸びと作り上げていくことができました。

<保育者の関わり> アドベントカレンダー

「らいおんまつりまであと〇にち」と保育室にアドベントカレンダーを設置し、それを見ながら何を準備したらよいか、いつまでに完成すればよいかなど、子どもたちが考えるきっかけを作りました。また、それぞれの準備の様子が見えるよう、情報共有をして、クラスで作りに上げていく達成感を味わえるように関わっていきました。



* 自然との関わり・生命尊重

ジュースづくり

近隣の公園や土手で草花を集め、ジュースづくりを行いました。これまでの経験から、どんな草花がいいか自分で考えて選んだり、色の変化に注目してじっくり作ったりし、身近な自然物に親しみをもって遊ぶ姿がみられました。

*** 思考力の芽生え**

景品づくり

景品はいくつ作ればいいのか、
そのために一人いくつ作ればい
のか考えたり、友達の考えを聞い
て、さらに考えたりする姿がみられ
ました。予想をして、答えを確かめ
ることで、自分たちで答えにたどり
着くことができました。

<保育者の関わり>

答えはがまん・・・

景品の数を考える場面では、なかなか答えに
たどり着けない様子でした。ヒントを伝えなが
らも、答えにつながるポイントは子どもたちか
ら引き出すことで、自分たちで解決した達成感
を味わうことができました。また、景品に見立
てた同じ数のブロックで答え合わせをするこ
とで全員が納得できました。



*** 自立心**

ペーパーサートづくり

ペーパーサートに興味を示して、自分で作って
みたいと主体的に取り組む中で、「うまく作れない」経
験もしました。保育者の支えを受けながら、考え
たり、工夫したりしてやり遂げる姿がみられ、作り
上げた達成感を味わったり、自信をつけたりする
ことができました。

*** 社会生活との関わり**



異年齢の関わり

「赤ちゃんが本当に食べちゃったら危ない」と色水の
ジュースの中身を食べられない素材のものに変えたり、
包装の仕方を工夫したり、準備の段階から異年齢の子
どもたちを意識して、進めていました。当日も、「お世話
係がいたらいいんじゃない?」と子どもたちから提案が
あり、当日小さなお客さんと一緒にお祭りを楽しみ、自分
たちだけではなく、みんなが楽しいお祭りを意識しながら
活動することができました。



継続・発展

*** 道徳性・規範意識の芽生え**



お店づくり

子どもたちと相談しながら、屋台づくりをしてい
きました。ブロックの組み立て方やテープの貼り方、支
柱の立て方、それぞれで「こうしたい」、「こうしたら
上手いかない」など気持ちをぶつけ合う姿もありま
した。危ない箇所を知らせたり、それぞれの意見通り
やってみたりすることで、友達の意見を受け入れ、共
感しながら作りあげる様子が見られました。



<保育者の関わり>

いろいろな表現方法を受け止めて

グループ活動していく中で、方向性を一つに定めら
れない場面がありました。子どもたちのやりたい気持
ちやその表現方法を受け止め、支えながら作り上げ
ていくことで、イメージしたものが形になっていく喜び
や表現する楽しさにつながっていききました。

*** 豊かな感性と表現**

ダンスステージ

ステージショーでは、ダンスとシアターをやりたい
と異なる意見が出てきました。ダンスステージは、参
加型になり、一緒に踊る子を思いながら、衣装やグ
ッズ作りを楽しみました。当日も、役になりきり表現
する楽しさややり遂げる自信を感じられました。



*** 協同性**

シアターづくり

共通のキャラクターや世界観はあるものの、いざ合
わせてみようとする、イメージや考えが異なることに
気づいた子どもたち。友達の考えやイメージを聞い
て、取り入れたり、協力したり、時にはぶつかったりし
ながら、友達のよさに気づき、一つの物語を作りあげ
る達成感も味わうことができました。